

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要について

令和4年9月備前市教育庁小中一貫教育課

目的：◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

実施日：令和4年4月19日（火）

実施校：市内小学校10校第6学年児童220人

市内中学校 5校第3学年生徒208人

調査：◇教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

◇学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査

1 学力調査結果の分析

<小学校>

【国語】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉える問題など、実際の学習場面を想定した問題で正答率が県・全国を上回るなど、一定の授業改善の効果が見られた。

ただ、登場人物の相互関係について描写を基に捉える問題や、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、自分の考えをまとめる問題においては正答率が県・全国平均を下回るなどの課題が見られた。

また、漢字の使用や文法等の基礎的な内容について、無回答率が県・全国と比較して高い問題もみられること、全体の正答率の高い問題であっても、無回答率の高い問題が見受けられることから、特定の活動において、授業に参加ができていない児童がいないか、今一度確認する必要がある。

このようなことから、現在進行している授業改善の取り組み自体は有効であって、今後も継続していくべきであると考えられる。

ただし、物語的文章を中心として、児童が内容面だけでなく表現面にも着目することができる学習場面をより積極的に取り入れるとともに、すべての児童が活動に参加可能となるような課題の焦点化や活動自体の構造化に努めていくことが必要であると考えられる。

【算数】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

問題場面の数量の関係を式に表すことができるかを問う問題の正答率が概ね全国・県平均よりもやや上回る正答率であったことから、基礎的な理解や技能の定着は概ね良好であるといえる。また、これらの問題については無回答率も全国・県を下回っている問題が多いことから、正答率の分布とあわせて考えても、基礎学力における二極化の傾向は弱いと推定される。

ただ、割合を用いて解決する問題については全国・県を下回る傾向が見られた。

このような状況から、割合として表される数量に関わる生活体験を豊かにしたり、「日常の具体的な場面」「図や表」「数や式」を相互に関連づけて割合について理解できるようにしたりするなどの場面を設定するなどの工夫が、今まで以上に必要であることがわかった。

【理科】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

水は水蒸気になって空気中に含まれていることを理解しているかどうかをみる問題などで正答率が県・全国を上回るなど、一定の授業改善の効果が見られた。

ただ、自然の事物・現象や自他の気づきを基に問題を見いだす問題に課題が見られた。

このことから、事実を比較し、採点や共通点を捉えることができるような場면을授業で設定する等の工夫をすることが重要である。

<中学校>

【国語】

全体的には全国・県の正答率をやや下回っているものの、ほぼ同等の正答率である。

場面の展開や登場人物の心情の変化などについて描写を基に捉える問題などで正答率が県・全国を上回るなど、一定の授業改善の効果が見られた。

また、無回答率についても全体的に県・全国との差はなく、正答率の分布とあわせて考えても、まんべんなく学力が身につけていると推定される。

ただ、話し合いの場面や物語の内容の解釈等の問題にやや課題も見られた。

このようなことから、現在進行している授業改善の取り組みを継続するとともに、特に一つ一つの学習場面の意味を学習者が理解し、より自覚的に学習に取り組むことができるよう授業をより構造化する等の工夫をする余地があると考えられる。

【数学】

全体的には全国・県の正答率をやや上回っている。

事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題の正答率が全国・

県と比較して高かった。

また、無回答率も県・全国と比較して低い問題もあり、正答率の分布とあわせて考えても、基礎学力の二極化や生徒の学習意欲等についての課題は、県・全国と比較して小さいことが推定される。

ただ、与えられた表やグラフから必要な情報を適切に読み取ることができるかどうかなどの問題については正答率がやや県・全国を下回った。

このようなことから、日常の授業において、表やグラフと具体的な事象を対応させ、グラフを読み取る活動を取り入れるなどの必要な情報を適切に読み取ることができるように指導することが大切である。

【理科】

全体的には全国・県の正答率と同等となっている。

共通点と相違点を捉え、分類の観点や基準を基に分析して解釈する問題の正答率が全国・県と比較して高かった。

また、無回答率も県・全国と比較して低い問題もあり、正答率の分布とあわせて考えても、基礎学力の二極化や生徒の学習意欲等についての課題は、県・全国と比較して小さいことが推定される。

ただ、気圧や状態変化に関する知識及び技能の習得や活用の問題では、正答率が県・全国を下回った。

このことから、身に付けた知識を身近な現象で活用できる程度に概念化等を理解するために探究する学習場面を繰り返し設定するなどの授業の工夫が大切である。

2 学校及び市教育委員会の取組

【学校】

○授業改善、中堅教諭による県外視察、及び計画訪問の実施による校内研修体制のより一層の充実

- ・市内中堅教諭の資質向上及び連携強化
- ・中堅教諭の指導力を発揮した校内研修体制の構築
- ・中堅教諭と指導主事が協力した若手教員の授業力向上を中心とした学校の組織力向上

○授業のユニバーサルデザイン化の実践

- ① 教科の本質へ向かう授業UD化に対する市内教員の共通理解
- ② ①を受けた指導主事による各校に対する継続的な支援・助言

○中学校区単位での学力向上に向けた小中一貫した課題解決の推進

- ・中学校区単位での学力的課題に対する共通理解と組織的対応

○指導主事による若手教員を対象に授業改善のための指導・助言

- 補充学習・朝、昼、放課後等を有効に活用した補充学習の推進
- 家庭と連携し、授業と連動した家庭学習の内容充実と習慣化を推進
- 土曜日授業等の実施

【教育委員会】

- 体制整備・ICT(電子黒板・デジタル教科書等)環境の整備
 - ・GIGA端末活用環境の整備
 - ・きめ細やかな指導を可能にする市費非常勤講師や教育支援員の配置
 - ・指導訪問等による学校の課題解決に向けた指導助言
- 地域の教育力を生かし、公民館等で土曜日や長期休業中に補充学習を行う「備前まなび塾+」の実施
 - ・地域の教育力を生かし、授業支援や補充学習、環境整備、通学の見守り支援等を行う地域学校共同本部の活用
 - ・GIGA端末

3 学力調査（教科に関する調査）

（1）平均正答率

小学校	3教科平均	国語	算数	理科
備前市	61.3	64	60	60
岡山県	64.3	67	62	64
全国	64	65.6	63.2	63.3
県比較	▲ 3	▲ 3	▲ 2	▲ 4
国比較	▲ 2.7	▲ 1.6	▲ 3.2	▲ 3.3

中学校	3教科平均	国語	数学	理科
備前市	55.7	66	52	49
岡山県	56.3	69	51	49
全国	56.6	69	51.4	49.3
県比較	▲ 0.6	▲ 3	1	0
国比較	▲ 0.9	▲ 3	0.6	▲ 0.3

<教科ごとの総問題数と正答率の関係>

【小学校】

国語…全14問（正答数1問の差＝正答率約7.1ポイントの差）

算数…全16問（正答数1問の差＝正答率約6.3ポイントの差）

理科…全17問（正答数1問の差＝正答率約5.9ポイントの差）

【中学校】

国語…全14問（正答数1問の差＝正答率約7.1ポイントの差）

算数…全16問（正答数1問の差＝正答率約6.3ポイントの差）

理科…全21問（正答数1問の差＝正答率約4.8ポイントの差）

◆ 同一集団の平均正答率の経年変化

※令和4年度全国学力・学習状況調査の対象者（中学校3年生）は、令和元年度全国学力・学習状況調査の対象者（小学校6年生）とほぼ同一集団である。

（理科は、前回実施したH30から4年ぶりの実施となる）

区分	2教科平均			国語			数学		
	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較	備前市	岡山県	比較
R元(小6)	63.5	64.5	▲1	63	64	▲1	64	65	▲1
R4(中3)	59	60	▲1	66	69	▲3	52	51	1
R元～R4比較			0			▲2			2

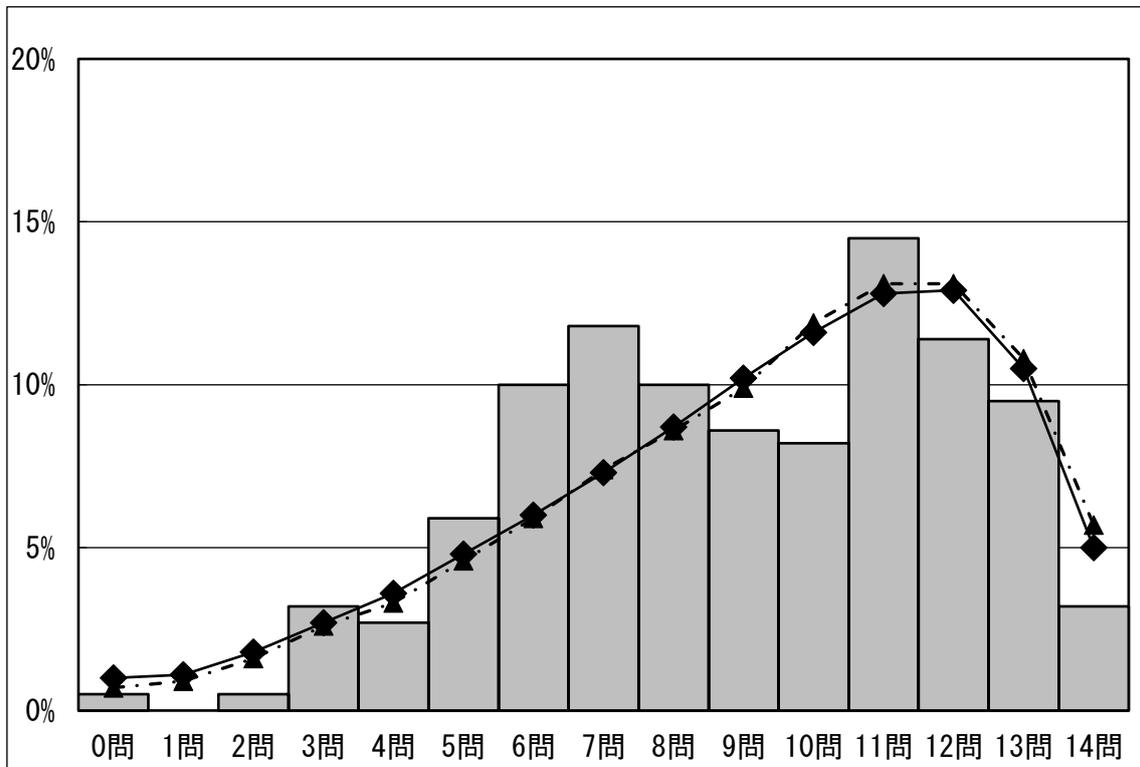
令和元年度全国学力・学習状況調査（小6）時点から、R4年度全国学力・学習状況調査（中1）の時点へかけて、国語がやや伸び悩んだ。

(2) 正答数分布 [小中教科別] 縦軸：割合(%) 横軸：正答数(問)

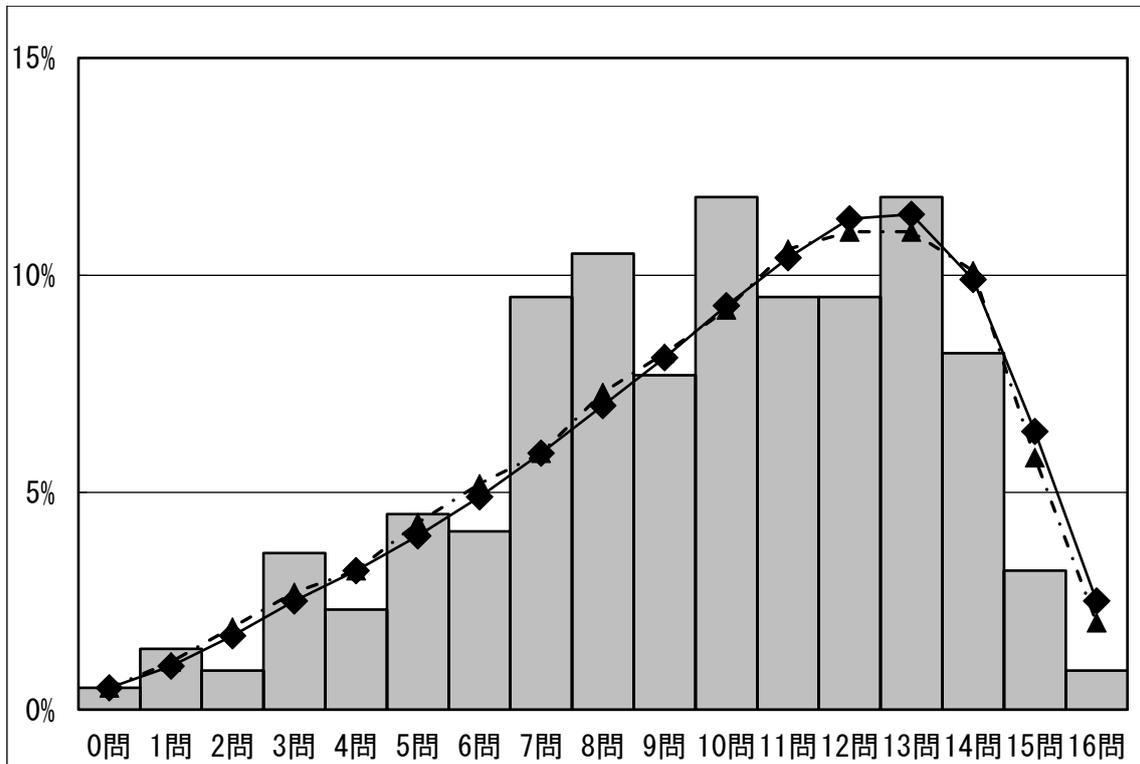

 市 県 全国

【小学校】

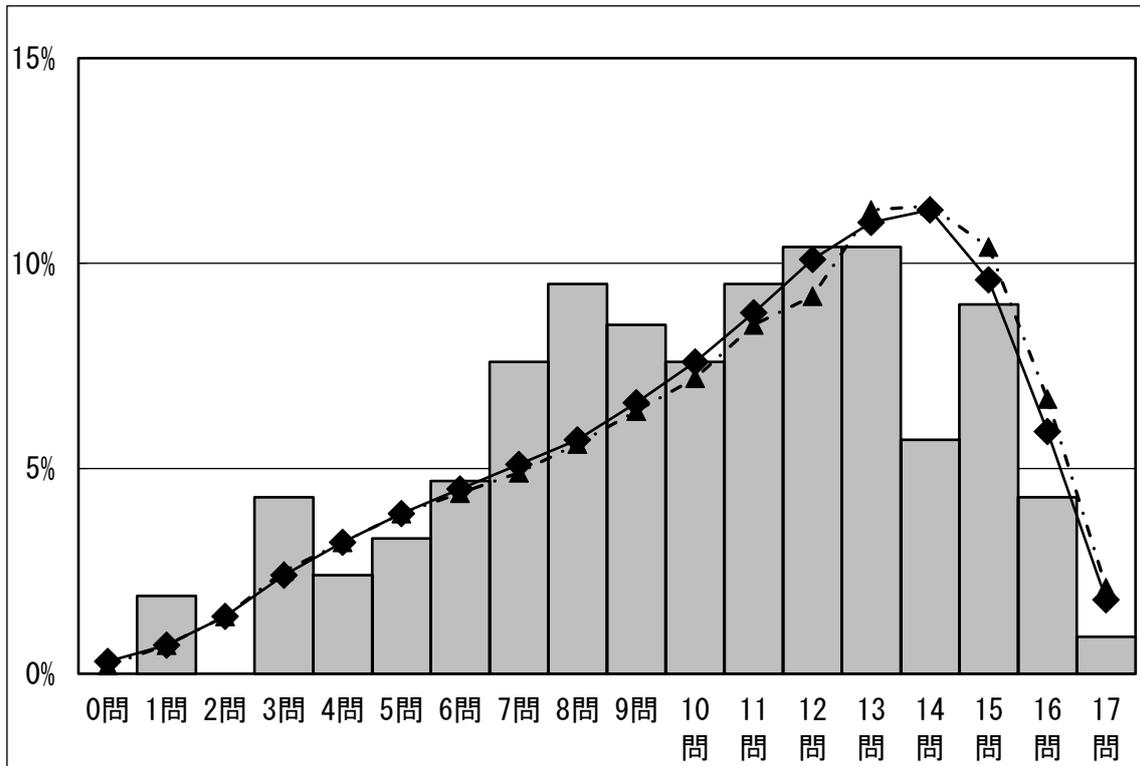
国語



算数

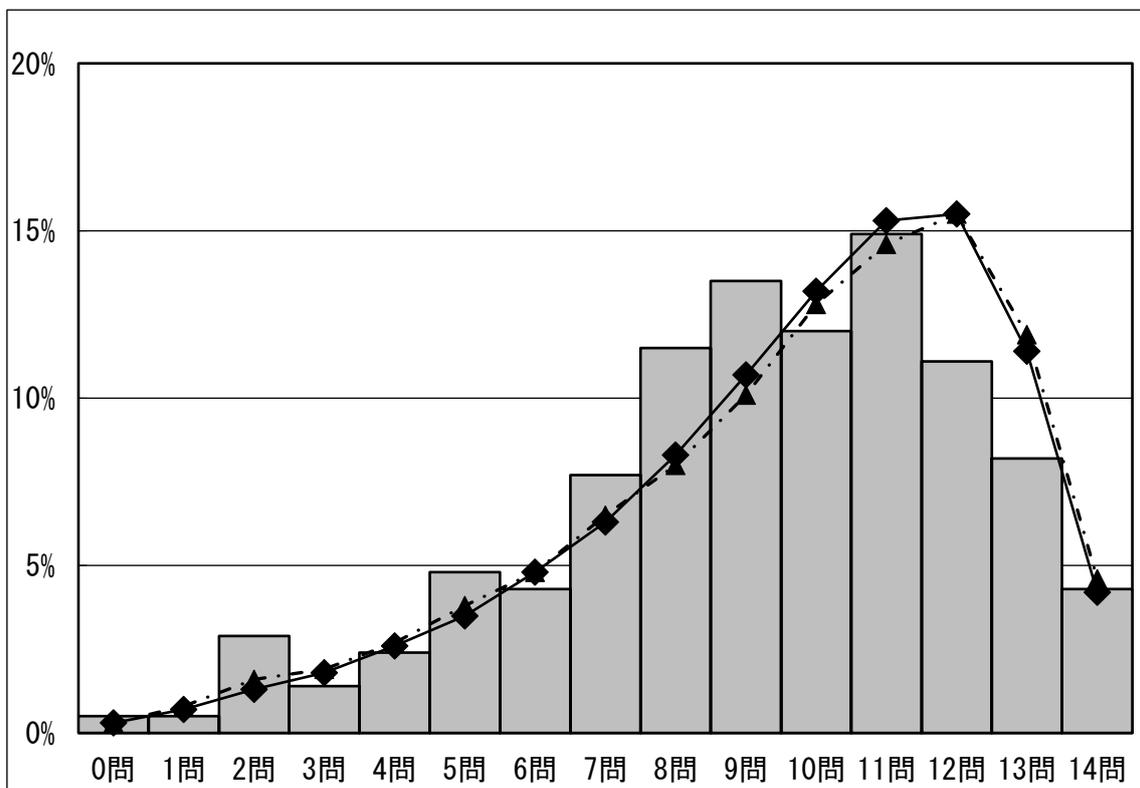


理科

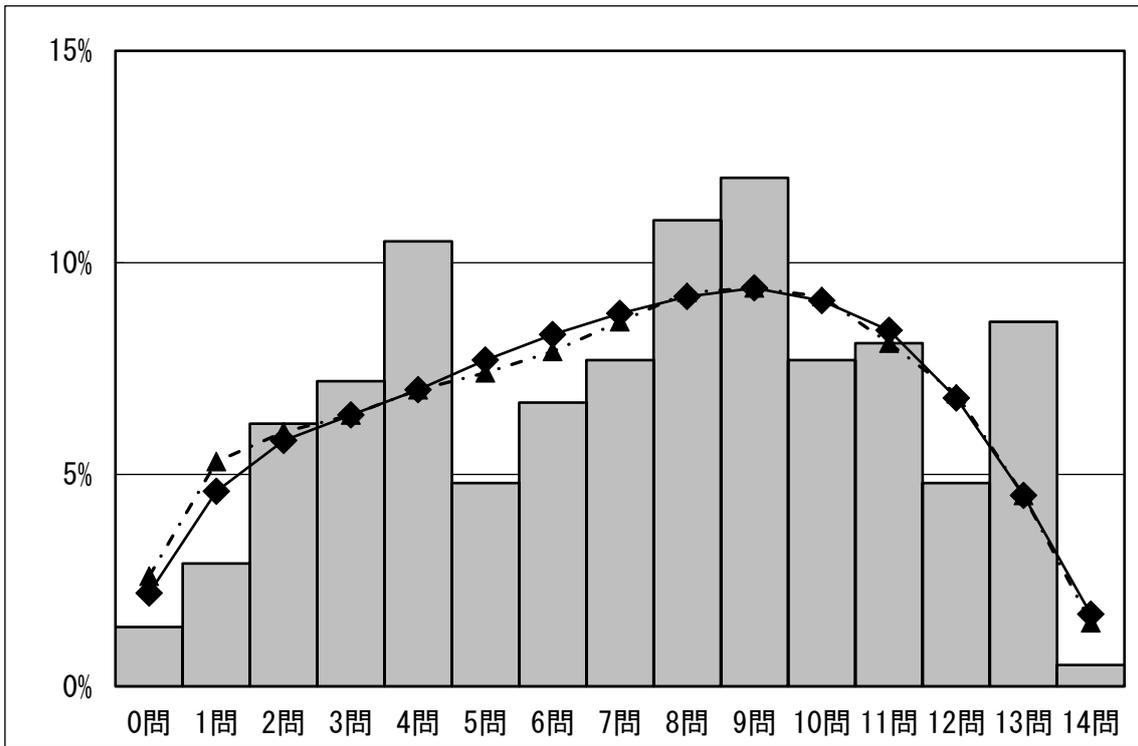


【中学校】

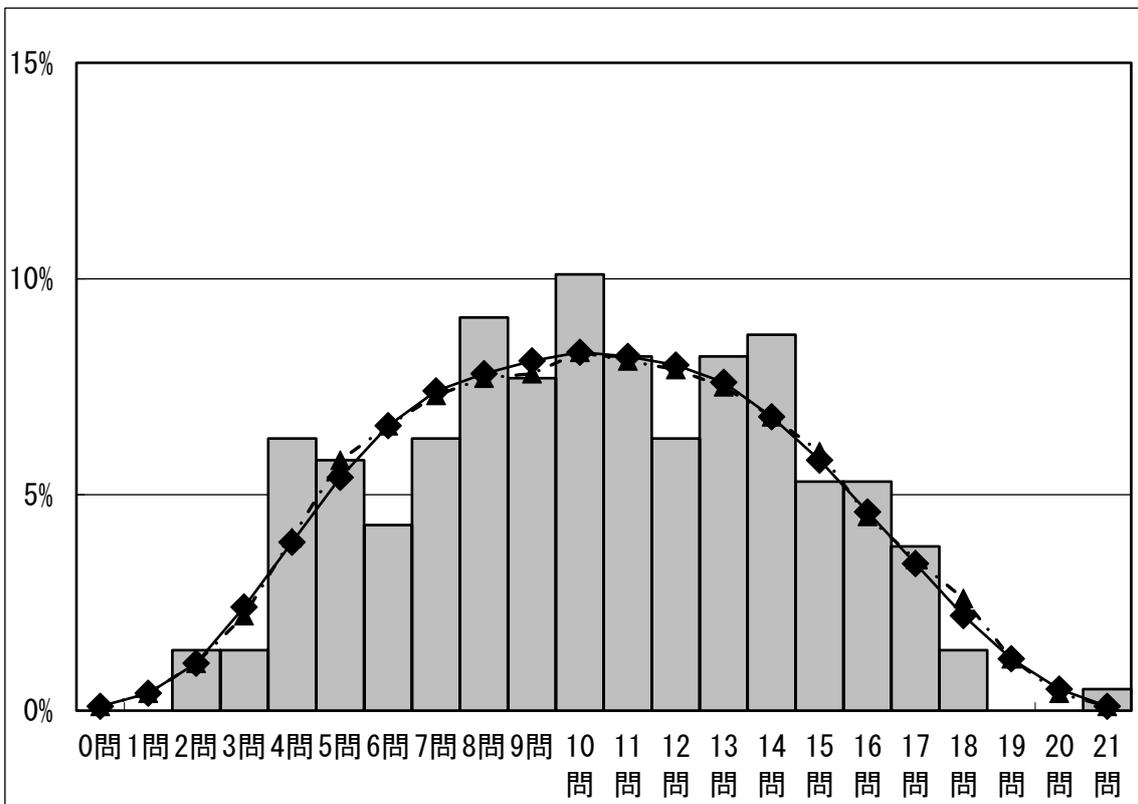
国語



数学



理科

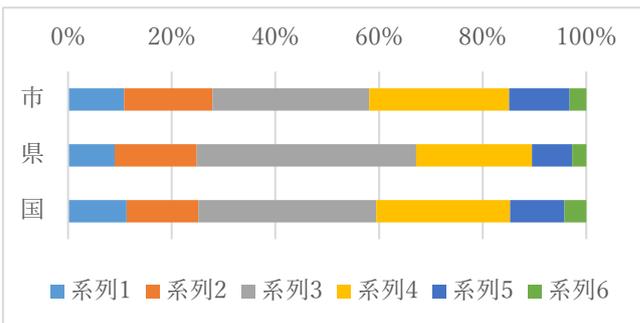


4 質問紙調査（主な項目のみ）

A 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾や家庭教師、インターネットを活用した学びを含む。）

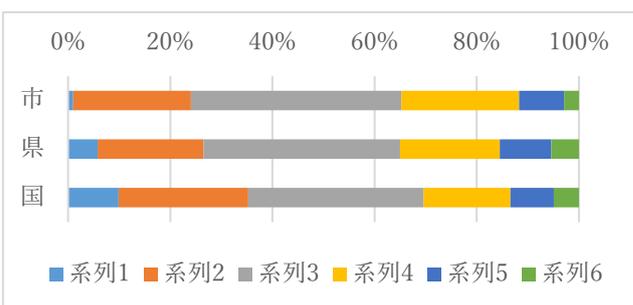
1.3時間以上 2.2時間以上3時間より少ない 3.1時間以上, 2時間より少ない 4.30分以上1時間より少ない 5.30分より少ない, 6.全くしない

【小学生】



系列	1	2	3	4	5	6
市	10.8	17.1	30.2	27	11.7	3.2
県	9.0	15.8	42.3	22.3	7.8	2.7
国	11.3	13.8	34.3	25.8	10.5	4.2
県比較	1.8	1.3	▲12.1	4.0	▲1.5	▲0.4
国比較	▲0.5	3.3	▲4.1	0.2	▲4.4	▲1.8

【中学生】



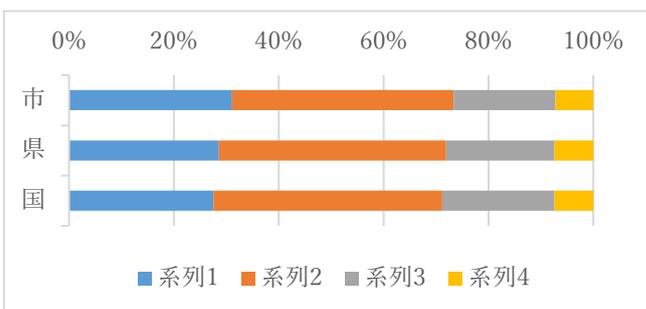
系列	1	2	3	4	5	6
市	1	23	41.2	23	8.8	2.9
県	5.8	20.7	38.4	19.5	10.1	5.4
国	9.9	25.3	34.3	17	8.5	4.9
県比較	▲4.8	2.3	2.8	3.5	▲1.3	▲2.5
国比較	▲8.9	▲2.3	6.9	6.0	0.3	▲2.0

1時間以上家庭で勉強する割合（1+2+3）は、小学校では全国を1.3ポイント、中学校では4.3ポイント下回っている。

B 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。

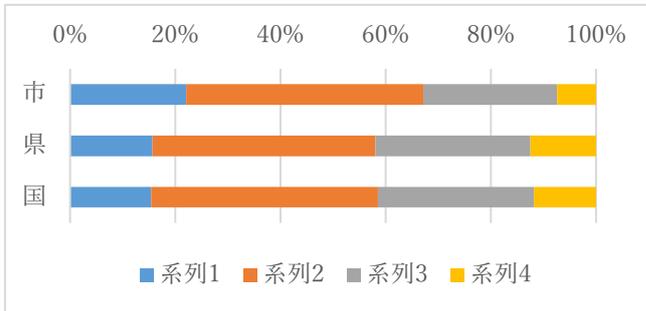
1.している 2.どちらかといえば、している 3.あまりしていない 4.全くしていない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	31.1	42.3	19.4	7.2
県	28.6	43.3	20.7	7.4
国	27.5	43.6	21.4	7.4
県比較	2.5	▲1.0	▲1.3	▲0.2
国比較	3.6	▲1.3	▲2.0	▲0.2

【中学生】



系列	1	2	3	4
市	22.1	45.1	25.5	7.4
県	15.7	42.4	29.5	12.5
国	15.4	43.1	29.6	11.8
県比較	6.4	2.7	▲ 4.0	▲ 5.1
国比較	6.7	2.0	▲ 4.1	▲ 4.4

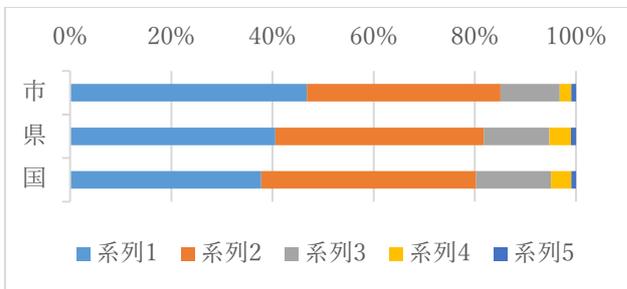
肯定群の割合は、小学校では国を2.3ポイント、中学校では8.7ポイント上回っている。

C 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか（無回答除く）

1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

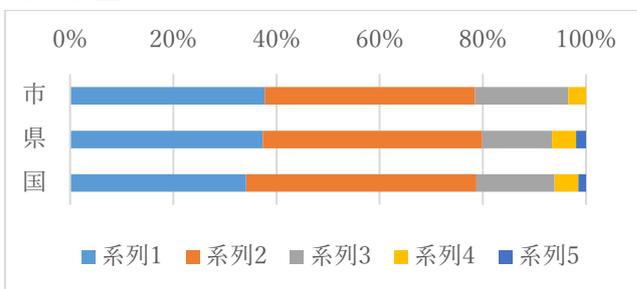
5. 学級の生徒との間で話し合う活動を行っていない。

【小学生】



系列	1	2	3	4	5
市	46.8	38.3	11.7	2.3	0.9
県	40.1	40.7	13.8	4.2	1
国	37.7	42.4	14.8	4	0.9
県比較	6.7	▲ 2.4	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 0.1
国比較	9.1	▲ 4.1	▲ 3.1	▲ 1.7	0.0

【中学生】



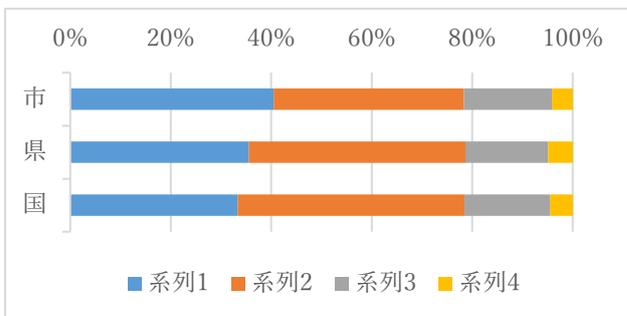
系列	1	2	3	4	5
市	37.7	40.7	18.1	3.4	0
県	37.3	42.5	13.5	4.7	1.9
国	34.1	44.6	15.1	4.6	1.5
県比較	0.4	▲ 1.8	4.6	▲ 1.3	▲ 1.9
国比較	3.6	▲ 3.9	3.0	▲ 1.2	▲ 1.5

C 肯定群（「できている」「どちらかといえばできている」の計）の割合は、小学校で全国を5ポイント上回っている。

D 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

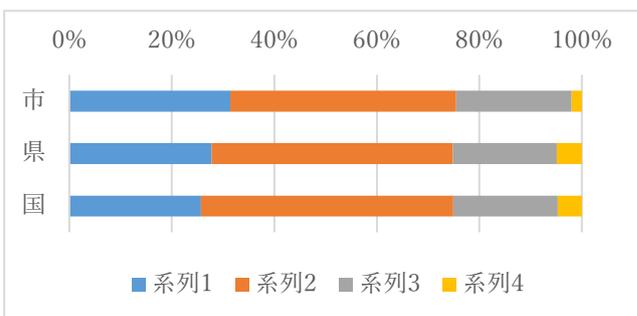
1 できている 2 どちらかといえばできている 3 あまりできていない 4 全くできていない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	40.5	37.8	17.6	4.1
県	35.5	43	16.4	4.9
国	33.2	45	17	4.5
県比較	5.0	▲ 5.2	1.2	▲ 0.8
国比較	7.3	▲ 7.2	0.6	▲ 0.4

【中学生】



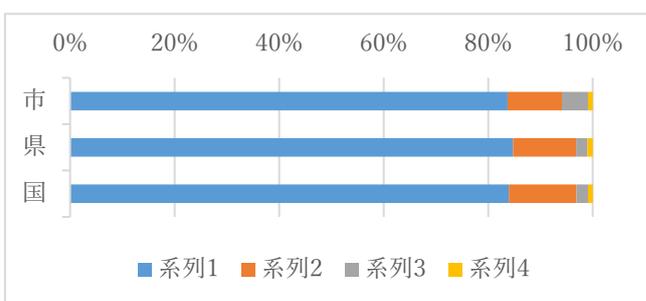
系列	1	2	3	4
市	31.4	44.1	22.5	2
県	27.7	47	20.2	4.9
国	25.6	49.1	20.3	4.7
県比較	3.7	▲ 2.9	2.3	▲ 2.9
国比較	5.8	▲ 5.0	2.2	▲ 2.7

D 肯定群（「できている」「どちらかといえば、できている」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校・中学校ともに、ほぼ同等である。

E いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。

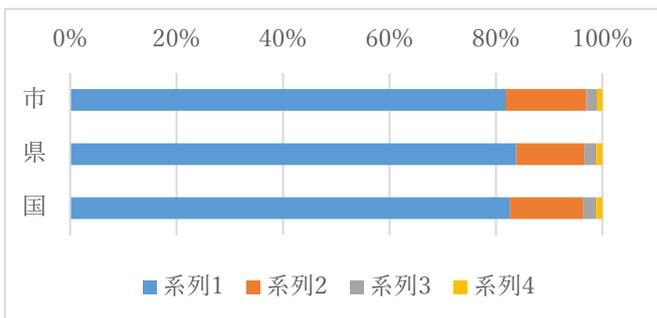
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



系列	1	2	3	4
市	83.8	10.4	5	0.9
県	84.7	12	2.2	1
国	83.9	12.9	2.2	0.9
県比較	▲ 0.9	▲ 1.6	2.8	▲ 0.1
国比較	▲ 0.1	▲ 2.5	2.8	0.0

【中学生】



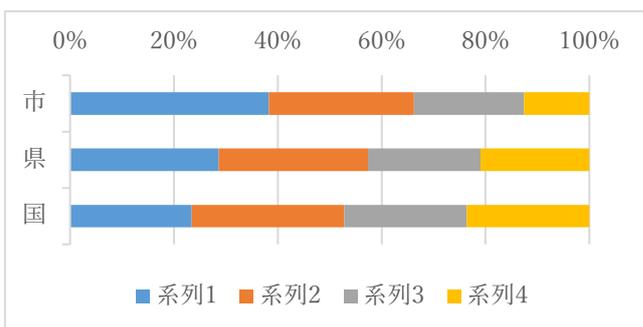
系列	1	2	3	4
市	81.9	15.2	2	1
県	83.8	12.8	2.3	1.1
国	82.6	13.8	2.5	1.1
県比較	▲ 1.9	2.4	▲ 0.3	▲ 0.1
国比較	▲ 0.7	1.4	▲ 0.5	▲ 0.1

E 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校・中学校ともにほぼ同等となっている。

F 今すんでいる地域の行事に参加していますか。

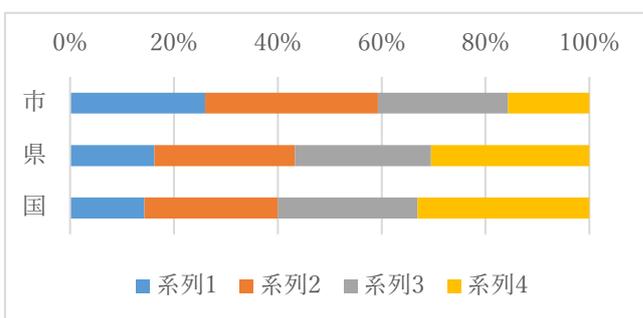
1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	38.3	27.9	21.2	12.6
県	28.6	28.7	21.7	20.9
国	23.4	29.3	23.6	23.6
県比較	9.7	▲ 0.8	▲ 0.5	▲ 8.3
国比較	14.9	▲ 1.4	▲ 2.4	▲ 11.0

【中学生】



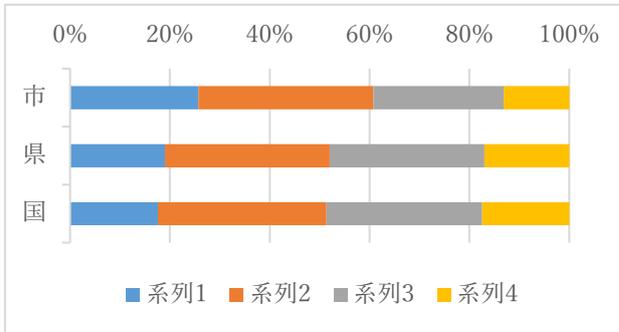
区分	1	2	3	4
市	26	33.3	25	15.7
県	16.2	27.1	26.2	30.5
国	14.3	25.7	26.9	33.1
県比較	9.8	6.2	▲ 1.2	▲ 14.8
国比較	11.7	7.6	▲ 1.9	▲ 17.4

F 肯定群（「している」「どちらかといえば、している」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では13.5ポイント、中学校では19.3ポイントと大きく上回っている。

G 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか。

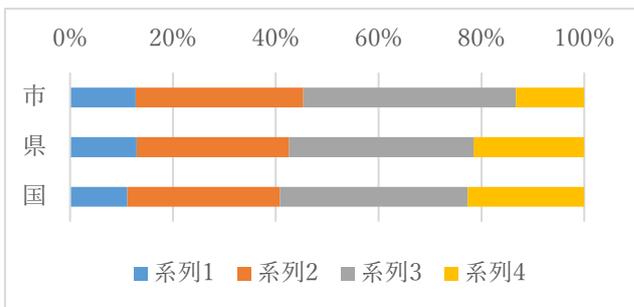
1 ある 2 どちらかといえば、ある 3 あまりない 4 全くない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	25.7	35.1	26.1	13.1
県	19	33	31	17
国	17.6	33.7	31.2	17.4
県比較	6.7	2.1	▲ 4.9	▲ 3.9
国比較	8.1	1.4	▲ 5.1	▲ 4.3

【中学生】



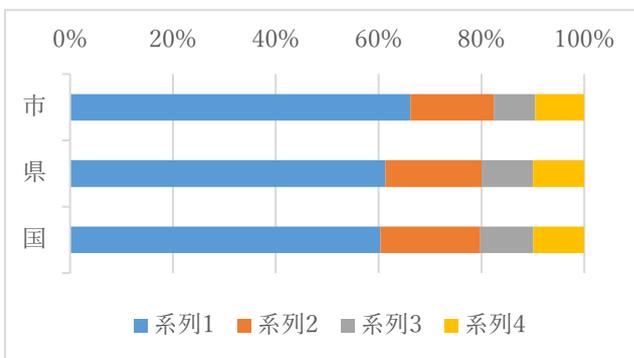
区分	1	2	3	4
市	12.7	32.4	41.2	13.2
県	12.9	29.6	35.8	21.5
国	11.1	29.6	36.5	22.6
県比較	▲ 0.2	2.8	5.4	▲ 8.3
国比較	1.6	2.8	4.7	▲ 9.4

G 肯定群（「ある」「どちらかといえば、ある」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では9.5ポイント、中学校では4.4ポイントと大きく上回っている。

H 将来の夢や目標を持っていますか。

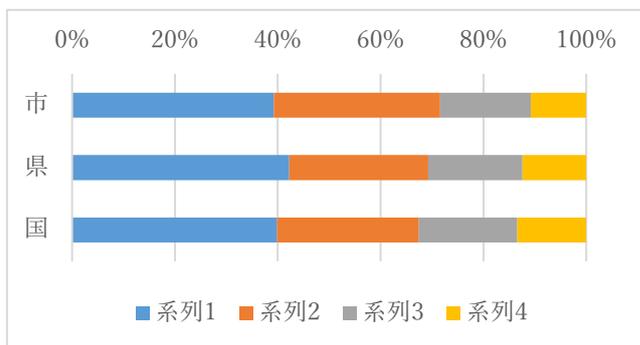
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	66.2	16.2	8.1	9.5
県	61.3	18.7	10	10
国	60.4	19.4	10.3	9.9
県比較	4.9	▲ 2.5	▲ 1.9	▲ 0.5
国比較	5.8	▲ 3.2	▲ 2.2	▲ 0.4

【中学生】



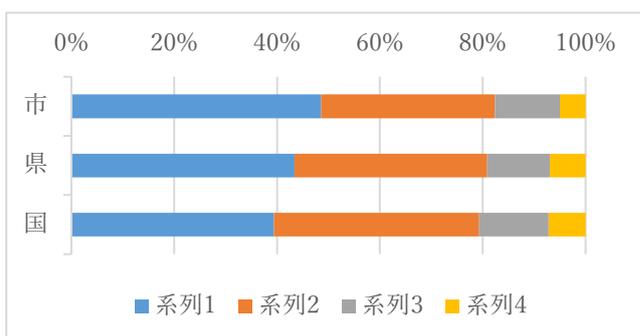
区分	1	2	3	4
市	39.2	32.4	17.6	10.8
県	42.2	27	18.3	12.4
国	39.8	27.5	19.1	13.4
県比較	▲ 3.0	5.4	▲ 0.7	▲ 1.6
国比較	▲ 0.6	4.9	▲ 1.5	▲ 2.6

H 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では2.6ポイント、中学校では4.3ポイント上回っている。

I 自分には、よいところがあると思いますか。

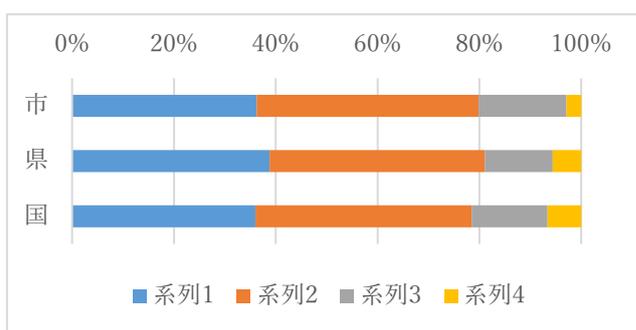
1 そう思う2 どちらかといえば、そう思う3 あまりそう思わない4 全そう思わない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	48.6	33.8	12.6	5
県	43.4	37.5	12.2	6.9
国	39.4	39.9	13.5	7.2
県比較	5.2	▲ 3.7	0.4	▲ 1.9
国比較	9.2	▲ 6.1	▲ 0.9	▲ 2.2

【中学生】



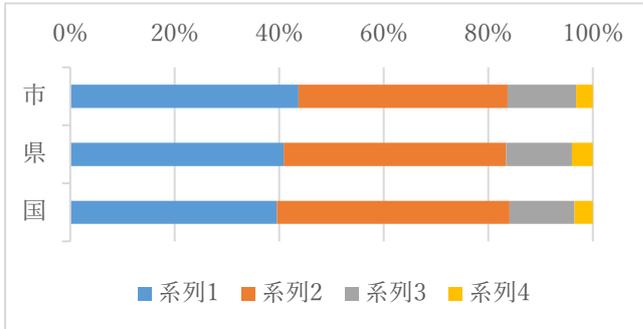
区分	1	2	3	4
市	36.3	43.6	17.2	2.9
県	38.8	42.3	13.3	5.6
国	36	42.5	14.9	6.6
県比較	▲ 2.5	1.3	3.9	▲ 2.7
国比較	0.3	1.1	2.3	▲ 3.7

I 肯定群（「そう思う」「どちらかといえば、そう思う」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では3.1ポイント、中学校では1.4ポイント上回っている。

J 国語の授業の内容はよくわかりますか。

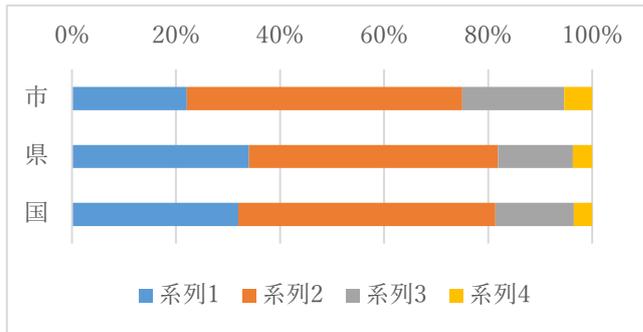
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	43.7	40.1	13.1	3.2
県	40.8	42.5	12.6	4
国	39.5	44.5	12.4	3.5
県比較	2.9	▲ 2.4	0.5	▲ 0.8
国比較	4.2	▲ 4.4	0.7	▲ 0.3

【中学生】



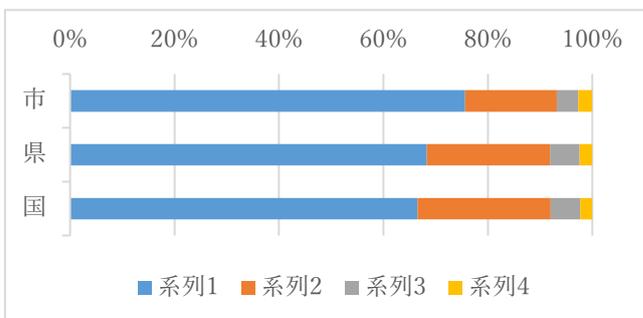
区分	1	2	3	4
市	22.1	52.9	19.6	5.4
県	34	47.8	14.4	3.7
国	31.9	49.3	15.1	3.5
県比較	▲ 11.9	5.1	5.2	1.7
国比較	▲ 9.8	3.6	4.5	1.9

J 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校・中学校ともに下回っている。

K 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。

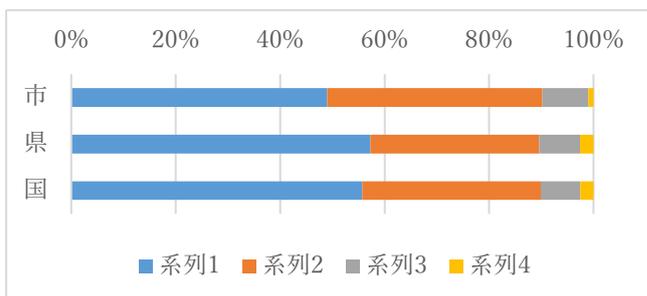
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	75.7	17.6	4.1	2.7
県	68.5	23.7	5.7	2.4
国	68.5	26.3	5.8	2.4
県比較	7.2	▲ 6.1	▲ 1.6	0.3
国比較	7.2	▲ 8.7	▲ 1.7	0.3

【中学生】



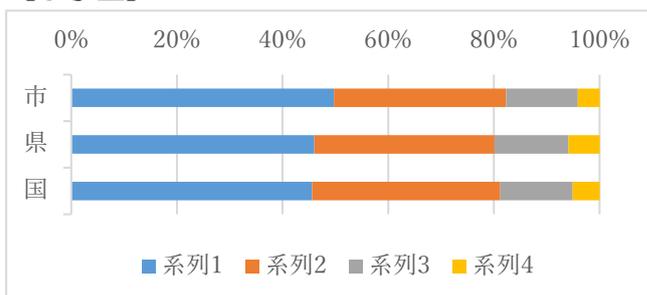
区分	1	2	3	4
市	49	41.2	8.8	1
県	57.2	32.3	7.8	2.6
国	55.6	34.1	7.6	2.5
県比較	▲ 8.2	8.9	1.0	▲ 1.6
国比較	▲ 6.6	7.1	1.2	▲ 1.5

K 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校・中学校ともにほぼ同等である。

L 算数・数学の授業の内容はよく分かりますか。

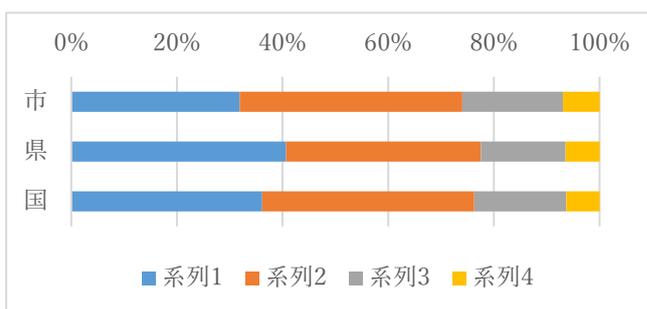
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	49.5	32.4	13.5	4.1
県	46	34.1	14	5.9
国	45.6	35.6	13.7	5.1
県比較	3.5	▲ 1.7	▲ 0.5	▲ 1.8
国比較	3.9	▲ 3.2	▲ 0.2	▲ 1.0

【中学生】



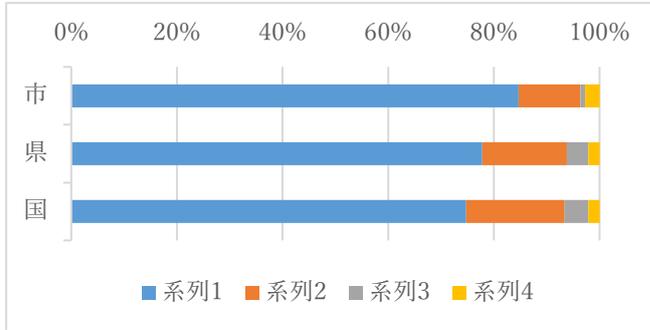
区分	1	2	3	4
市	31.9	42.2	19.1	6.9
県	40.6	36.9	16	6.4
国	36.1	40.1	17.4	6.3
県比較	▲ 8.7	5.3	3.1	0.5
国比較	▲ 4.2	2.1	1.7	0.6

L 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国とほぼ同等だが、中学校では2.1ポイント下回っている。

M 算数・数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

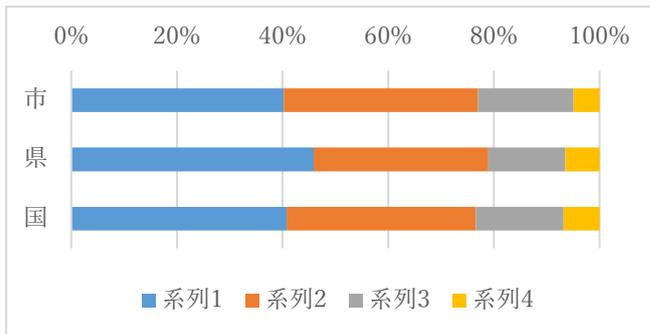
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	84.7	11.7	0.9	2.7
県	77.8	16	4.1	2.1
国	74.7	18.6	4.5	2.1
県比較	6.9	▲ 4.3	▲ 3.2	0.6
国比較	10.0	▲ 6.9	▲ 3.6	0.6

【中学生】



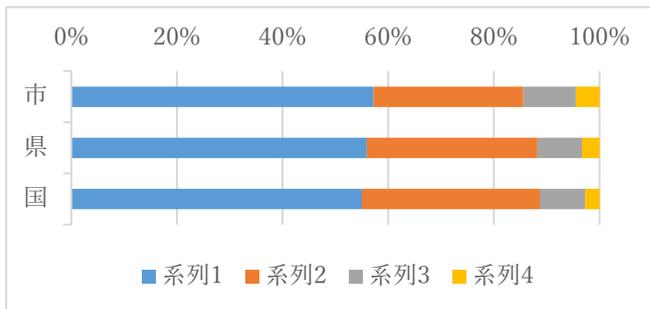
区分	1	2	3	4
市	40.2	36.8	18.1	4.9
県	45.8	33	14.5	6.5
国	40.7	35.8	16.6	6.8
県比較	▲ 5.6	3.8	3.6	▲ 1.6
国比較	▲ 0.5	1.0	1.5	▲ 1.9

M 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国を3.1ポイント上回っており、中学校はほぼ全国と同等であった。

N 理科の授業の内容はよく分かりますか。

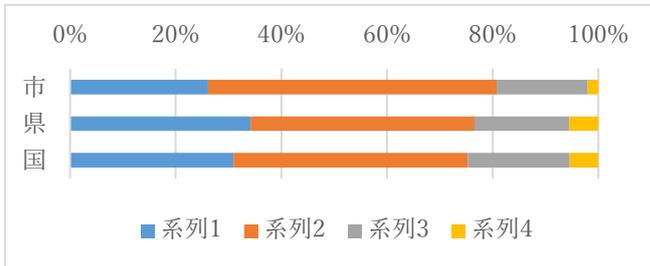
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	57.2	28.4	9.9	4.5
県	55.9	32.3	8.4	3.3
国	54.9	33.6	8.6	2.7
県比較	1.3	▲ 3.9	1.5	1.2
国比較	2.3	▲ 5.2	1.3	1.8

【中学生】



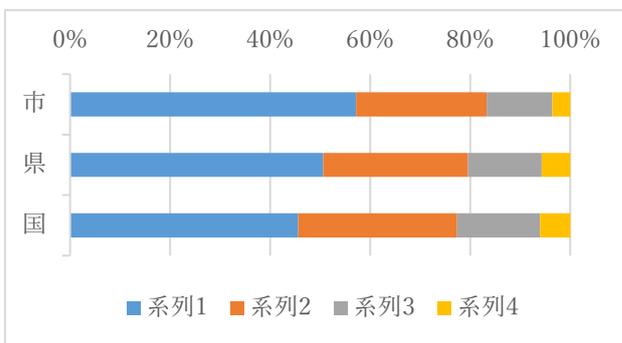
区分	1	2	3	4
市	26	54.4	17.2	2
県	34.1	42.4	17.9	5.5
国	30.9	44.3	19.3	5.4
県比較	▲ 8.1	12.0	▲ 0.7	▲ 3.5
国比較	▲ 4.9	10.1	▲ 2.1	▲ 3.4

N 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校では全国を2.9ポイント下回っており、中学校では5.2ポイント上回っていた。

○ 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

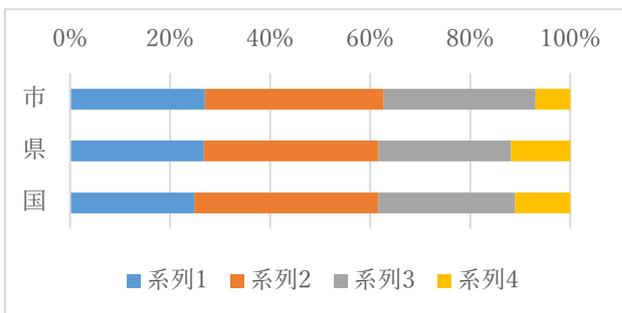
1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない

【小学生】



区分	1	2	3	4
市	57.2	26.1	13.1	3.6
県	50.6	28.9	14.7	5.7
国	45.5	31.7	16.6	6
県比較	6.6	▲ 2.8	▲ 1.6	▲ 2.1
国比較	11.7	▲ 5.6	▲ 3.5	▲ 2.4

【中学生】



区分	1	2	3	4
市	27	35.8	30.4	6.9
県	26.7	34.9	26.5	11.8
国	24.8	36.7	27.3	11
県比較	0.3	0.9	3.9	▲ 4.9
国比較	2.2	▲ 0.9	3.1	▲ 4.1

○ 肯定群（「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」の計）の割合で備前市と全国を比較すると、小学校で全国を6.1ポイント、中学校で1.3ポイント上回っていた。